

2021年度 授業シラバスの詳細内容

○基本情報			
科目名	ゼミナールⅡA (SeminarⅡA)		
ナンバリングコード	E21201	大分類 / 難易度 科目分野	経営経済学科 専門科目 / 標準レベル ゼミナール
単位数	2	配当学年 / 開講期	2年 / 前期
必修・選択区分	必修 ※入学年度及び所属学科コースで異なる場合がありますので、学生便覧で必ず確認してください。		
授業コード	E002411	クラス名	鍋田ゼミ
担当教員名	鍋田 耕作		
履修上の注意、履修条件	ゼミは発表・討論を通じて学ぶ場であり、自分の意見を持つ、そして相手に伝えることを意識的に行っていきます。そのためにも講義、グループ活動への積極的な参加を期待します。		
教科書	必要に応じ、プリントを配布します		
参考文献及び指定図書	その都度紹介します。		
関連科目	社会福祉原論, 高齢者福祉論, 障害者福祉論, 児童福祉論, 地域福祉論, 社会保障論など		

○基本情報	
授業の目的	(ゼミナールⅡA・ⅡB共通) 本講義では、PBL(Problem/Project Based Learning)を活用し、地域社会に起きている課題についてグループで「目標設定」→情報収集→課題整理→解決策立案→報告(発表)→振り返りを1サイクルとしてグループ活動を行います。 また、こども・福祉マネジメントコースが養成する人材像のうち、『子ども』『高齢者』『障がい者』、そして『ビジネス』など様々な視点から、つながりのある地域社会の実現に貢献できる人材に焦点をあて、地域社会が抱えている課題について、自ら調べ、考え、そしてチームで解決策を考える(社会人基礎力:「チームで働く力」、「前に踏み出す力」)修得を目指します。
授業の概要	ゼミナールⅡでは、様々な地域課題について、その解決策についてグループで検討し、発表を行い、社会人基礎力の修得を目指します。
授業の運営方法	(1)授業の形式 「講義形式」 (2)複数担当の場合の方式 「該当しない」 (3)アクティブ・ラーニング 「PBL(課題解決型学習)」
地域志向科目	カテゴリーⅢ:地域における課題解決に必要な知識を修得する科目
実務経験のある教員による授業科目	該当なし

○成績評価の指標		○成績評価基準(合計100点)		
到達目標の観点	到達目標	テスト (期末試験・中間確)	提出物 (レポート・作品等)	無形成果 (発表・その他)
【関心・意欲・態度】	・地域社会で起きている課題について関心を示すことができる ・チームで課題解決に向けて取り組む姿勢を示すことができる		30点	
【知識・理解】	・PBLの課程について理解できている ・課題解決の方策について理解できている		20点	
【技能・表現・コミュニケーション】	・自分自身で調べた、考えた事項について他のメンバーに伝えることができる ・チーム活動の成果について適切にプレゼンテーションすることができる		15点	15点
【思考・判断・創造】	・他のメンバーの考え、意見を理解し、自らの立場に基づいた意見を述べる事ができる。		20点	

○成績評価の補足(具体的な評価方法および期末試験・レポート等の学習成果・課題のフィードバック方法)
原則として、毎回の講義の最後に提出物を求めます。 次回の講義時間中に内容等に関するフィードバックを行います。 講義での提出物、講義への参加状況および発表をもとに総合的に判断します。 [Sレベル]単位を修得するために達成すべき到達目標を満たしている。 [Aレベル]単位を修得するために達成すべき到達目標をほぼ満たしている。 [Bレベル]単位を修得するために達成すべき到達目標をかなり満たしている。 [Cレベル]単位を修得するために達成すべき到達目標を一部分満たしている。

○その他
・講義内容の質問等については、講義終了後またはメール等を活用してください。

2021年度 授業シラバスの詳細内容

○授業計画	科目名 担当教員	ゼミナールⅡA (SeminarⅡA) 鍋田 耕作	授業コード	E002411
学修内容				
1. オリエンテーション 本講義の目的および内容等について説明します。また、履修状況の確認を行う				
予習	講義の目的等についてシラバスを確認する			約2時間
復習	配布資料、板書等をもとに要点をまとめる			約2時間
2. アイスブレイキング アイスブレイキングについて理解する				
予習	:アイスブレイキングの意義・目的について調べる			約2時間
復習	配布資料、板書等をもとに要点をまとめる			約2時間
3. アイスブレイキング アイスブレイキングについて実際に考える				
予習	アイスブレイキングの対象となる人について調べる			約2時間
復習	配布資料、板書等をもとに要点をまとめる			約2時間
4. PBL(Pblblem Based Larning)①-1 PBLを実施するにあたってのグループ分け、課題の説明を行い、現時点でのチーム内での情報、課題についての認識を共有する				
予習	PBL意義・目的について調べる			約2時間
復習	配布資料、板書等をもとに要点をまとめる			約2時間
5. PBL①-2 設定課題について、チームで分担し情報収集を行い、課題を共有する				
予習	課題についての情報収集を行う			約2時間
復習	配布資料、板書等をもとに要点をまとめる			約2時間
6. PBL①-3 第5週目の情報収集・課題整理をもとに、課題解決に向けた方策について考える				
予習	グループで出された課題を見直すとともに、解決策について考える			約2時間
復習	配布資料、板書等をもとに要点をまとめる			約2時間
7. PBL①-4 第4週から第6週で調べ、まとめた内容についてグループ発表を行う。 ※5グループに分け発表会を行う。その中で代表を2チーム選出				
予習	発表の担当部分について原稿作成等発表準備を行う			約2時間
復習	配布資料、板書等をもとに要点をまとめる			約2時間
8. PBL①-5 第7週で各グループから選出された代表チームによる発表会				
予習	配布資料、板書等をもとに要点をまとめる			約2時間
復習				

○授業計画	科目名 担当教員	ゼミナールⅡA (SeminarⅡA) 鍋田 耕作	授業コード	E002411
学修内容				
9. 地域社会で起きている課題について関心を示すことができる PBL①でのチーム目標の達成度、チーム内での役割などについて振り返りを行う				
予習	チーム目標、チーム内での役割について確認する			約2時間
復習	配布資料、板書等をもとに要点をまとめる			約2時間
10. 自分自身で調べた、考えた事項について他のメンバーに伝えることができる PBLを実施するにあたってのグループ分け、課題の説明を行い、現時点でのチーム内での情報、課題についての認識を共有する				
予習	PBL意義・目的について調べる			約2時間
復習	配布資料、板書等をもとに要点をまとめる			約2時間
11. PBL②-2 設定課題について、チームで分担し情報収集を行い、課題を共有する				
予習	課題についての情報収集を行う			約2時間
復習	配布資料、板書等をもとに要点をまとめる			約2時間
12. PBL②-3 第11週目の情報収集・課題整理をもとに、課題解決に向けた方策について考える				
予習	グループで出された課題を見直すとともに、解決策について考える			約2時間
復習	配布資料、板書等をもとに要点をまとめる			約2時間
13. PBL②-4 第10週から第12週で調べ、まとめた内容についてグループ発表を行う。 ※5グループに分け発表会を行う。その中で代表を2チーム選出				
予習	発表の担当部分について原稿作成等発表準備を行う			約2時間
復習	配布資料、板書等をもとに要点をまとめる			約2時間
14. PBL②-5 第13週で各グループから選出された代表チームによる発表会				
予習	前回の発表会の振り返りを行う			約2時間
復習	配布資料、板書等をもとに要点をまとめる			約2時間
15. PBL②振り返り PBL①でのチーム目標の達成度、チーム内での役割などについて振り返りを行う				
予習	チーム目標、チーム内での役割について確認する			約2時間
復習	配布資料、板書等をもとに要点をまとめる			約2時間
16.				
予習				
復習				